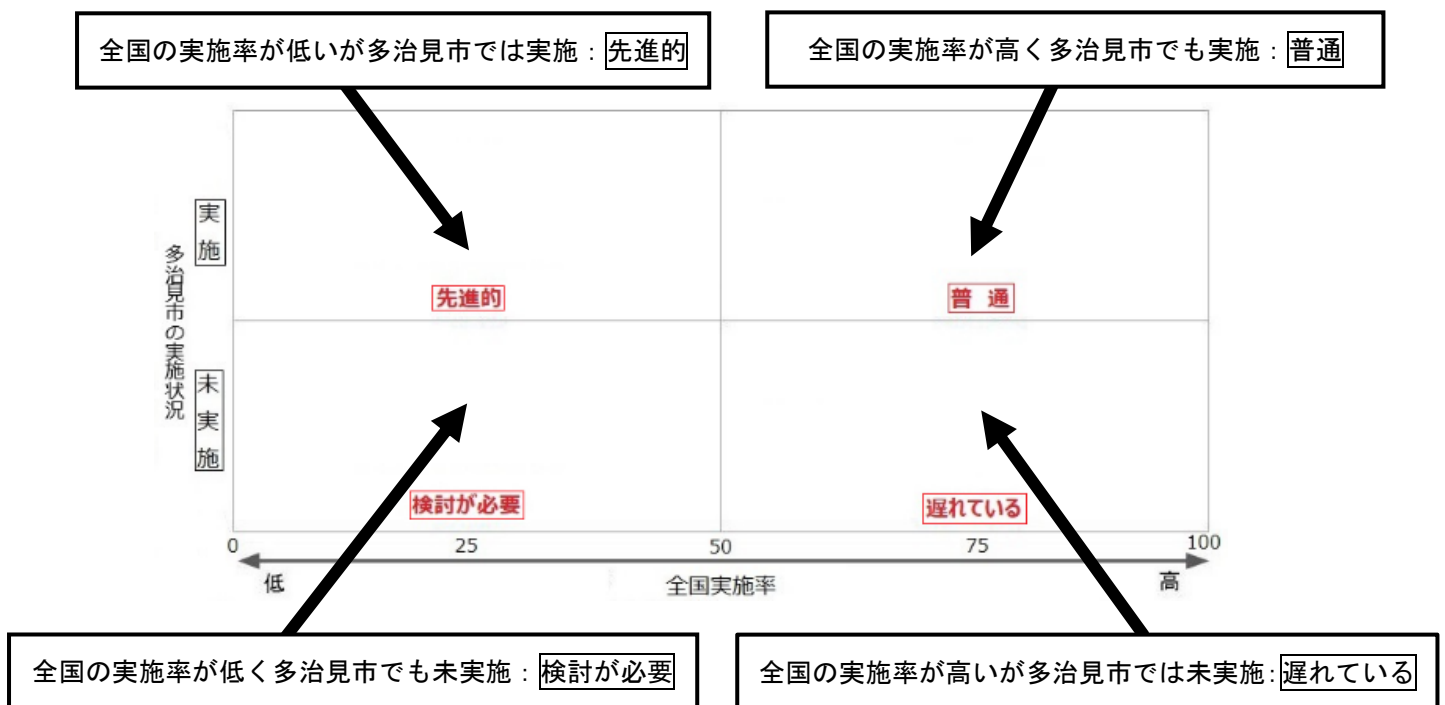


多治見市の情報化に関する評価

～ 全国情報化アンケートから見た現状分析 ～

総務省「令和4年度地方公共団体における行政情報化の推進状況調査」から引用

《評価項目をプロットした図》



プロットした数に応じて次のように評価

- 先進的 **先進的**及び**普通**の合計が2/3以上、かつ、その二つの合計の内**先進的**が2/3以上の場合
- 良好 **先進的**及び**普通**の合計が2/3以上、かつ、その二つの合計の内**先進的**が1/3未満の場合
- やや不備あり **検討が必要**及び**遅れている**の合計1/3以上の場合
- 不備あり **検討が必要**及び**遅れている**の合計が1/3以上、かつ、その二つの合計の内**遅れている**が2/3以上の場合

多治見市の立ち位置評価一覧【国の評価項目】

＜自治体DXの推進体制等＞		
【組織体制】	良好	p 2
良い点:本市の自治体DXに対する組織体制については、全国的に見ても確立されている 検討点:CIO補佐官の任命について、全国や県内の約半分が任命しているためやや遅れている		
【DX・情報化についての職員育成】	良好	p 2
良い点:全国的に見ても9.2%しか実施していない「資格試験の受験等に対する助成制度」を実施 検討点:全国的に見て実施している市町村は少ないため、「DX・情報化に関する人材育成方針の策定」や「デジタルスキル向上を目的とした他機関への職員派遣」については、実施の有無を含めて検討を要する		
＜行政サービスの向上・高度化＞		
【行政手続のオンライン化の推進状況】	良好	p 3
良い点:びったりサービスによる電子申請管理システムを導入。基幹系との連携システムについても構築済 検討点:オンライン化利用促進計画は全国的に約半数が「策定済」若しくは「策定予定」とあるので本市においても検討が必要 検討点:汎用的電子申請システムの導入について、びったりサービス以外でマイナンバーカードの電子証明書の機能を用いたオンライン申請は実施していないため、導入に向けた検討が必要。(県内18団体導入済) 検討点:オンラインシステムにおけるASP/SaaSの利用については、様々な業務で利用しているが手数料等の電子納付について未実施のため今後検討が必要(全国実施率:14.7%)		
【住民サービス向上への取組状況】	良好	p 4
良い点:「コンビニ収納」「総合窓口」「クレジット決済」「ウェブアクセシビリティの向上」を実施済 検討点:「コンビニ交付」については令和6年度までに実施予定(全国実施率:79%)		
【ホームページ等の状況】	やや不備あり	p 4
良い点:ホームページの機能に関してはすべて対応 検討点:県内42市町村中40団体がやっているホームページ上での意見・要望の受付を行っていない		
【電子決裁の状況】	先進的	p 5
良い点:「人事給与」、「財務会計」、「文書管理」システムのすべてを電子化しており、全国的にも先進的な取り組みとなっている。(全国実施率:23.4%、21.8%、29.3%)		
【災害時の被災者情報管理業務システムの整備状況】	良好	p 6
良い点:「J-LISが提供している被災者支援システム」を導入済		
【統合型地理情報システム(GIS)の整備状況】	良好	p 6
良い点:県域統合型GISシステムを導入済 検討点:利用業務の拡大について検討が必要		
＜情報セキュリティ対策の実施状況＞		
【組織体制・規程類の整備】	やや不備あり	p 6
良い点:CISOを任命及び緊急時対応計画(多治見市情報セキュリティ緊急時行動規程)を策定済 検討点:全国的約8割が設置しているCSIRT ^{※1} の整備ができていない		
【人的及び調達時・運用時の情報セキュリティ対策】	良好	p 7
良い点:情報セキュリティ研修として全職員にeラーニング及び集合研修を実施、緊急時対応訓練として、ICT-BCP訓練を実施している 検討点:全国で57.4%が実施している「システムの運用、委託事業者に対する指導・監査」の実施の検討が必要		
【情報セキュリティ対策の監査・点検】	良好	p 7
良い点:情報セキュリティについて内部監査及び外部監査の両方を実施。(全国実施率:8.5%)		
【情報システムに関する業務継続計画(ICT-BCP)の策定状況】	先進的	p 8
良い点:ICT-BCP初動版のみを策定。業務継続訓練の実施については、「全庁で実地演習」及び「机上の演習」を行っている。全国規模で両方演習を行っているのは5団体のみ		
＜デジタルデバйд対策＞		
【地方公共団体独自のデジタルデバйд対策の実施】	良好	p 8
良い点:民間事業者と連携し「スマホやタブレット等のデジタル機器やサービスの利用方法を教える講座」や「お届けセミナー」による講座を開催		

※1 CSIRT (Computer Security Incident Response Team)

情報システムに対するサイバー攻撃等の情報セキュリティインシデントが発生した際に、発生した情報セキュリティインシデントを正確に把握・分析し、被害拡大防止、復旧、再発防止等を迅速かつ的確に行う事を可能とするための機能を有する体制のこと。

≪自治体DXの推進体制等≫

【組織体制】 ⇒ 良好（評価項目 6 個中：先進的 2 / 普通 2 / 検討 2）

良い点 ・本市の自治体DXに対する組織体制については、全国的に見ても確立されている。

検討点 ・CIO補佐官の任命については、全国や県内の約半分が任命しているためやや遅れている。
 ・DXを推進するための外部デジタル人材の活用についても今後検討する必要がある。

★：各項目の実施の有無



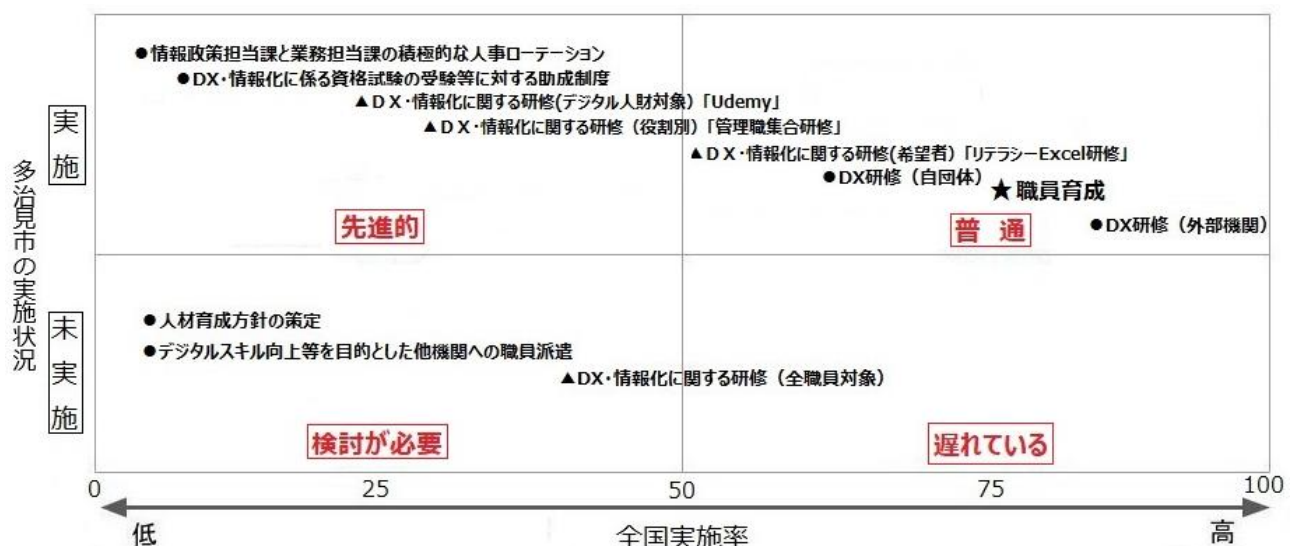
【DX・情報化についての職員育成】 ⇒ 良好（評価項目 21 個中：先進的 6 / 普通 7 / 検討 8）

良い点 ・全国的に見ても 9.2%しか実施していない「資格試験の受験等に対する助成制度」を実施。
 ・研修の内容として「ITリテラシー」「RPAやAI」「データの利活用」「セキュリティ対策」など概ね全国的に行われている研修を実施。

・対象者として、「Udemy」研修では、人事管理上「デジタル人材」「ICT職」等として位置づけられた人材を対象とし、「管理職集合研修」は、役割に応じた研修取組として、「リテラシーExcel研修」は、希望者を対象として行っており、必要な人材に対し適切に研修を実施。

検討点 ・全国的に見て実施している市町村は少ないため、「DX・情報化に関する人材育成方針の策定」や「デジタルスキル向上を目的とした他機関への職員派遣」も今後、実施の有無を含めて検討を要する。

★：職員育成導入の有無／●：職員育成の取組内容／▲：DX・情報化に関する研修の対象者



●：DX・情報化に関する研修内容



《行政サービスの向上・高度化》

【行政手続のオンライン化の推進状況】 ⇒ 良好（評価項目 13 個中：先進的 5/普通 4/検討 4）

良い点・オンライン化計画の策定については多治見市情報課計画により策定済み。オンライン化条例については、「多治見市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」を制定。

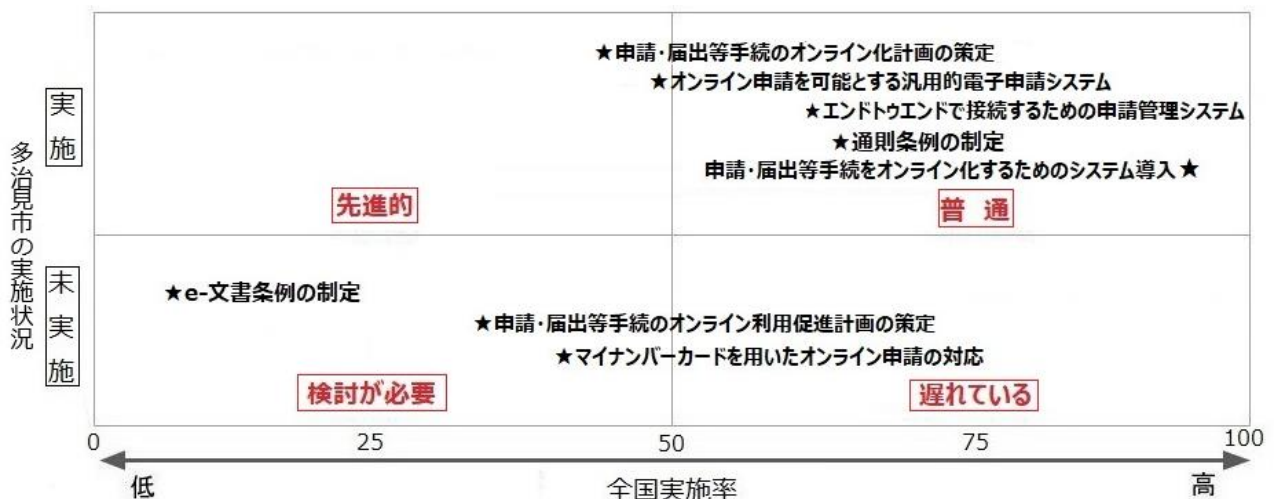
・R4年度にぴったりサービスによる電子申請管理システムを導入。基幹系との連携システムについても構築済み。

検討点・オンライン化利用促進計画は全国的に約半数が「策定済」若しくは「策定予定」とあるので本市においても検討が必要。e-文書条例については、必要に応じて今後検討する。

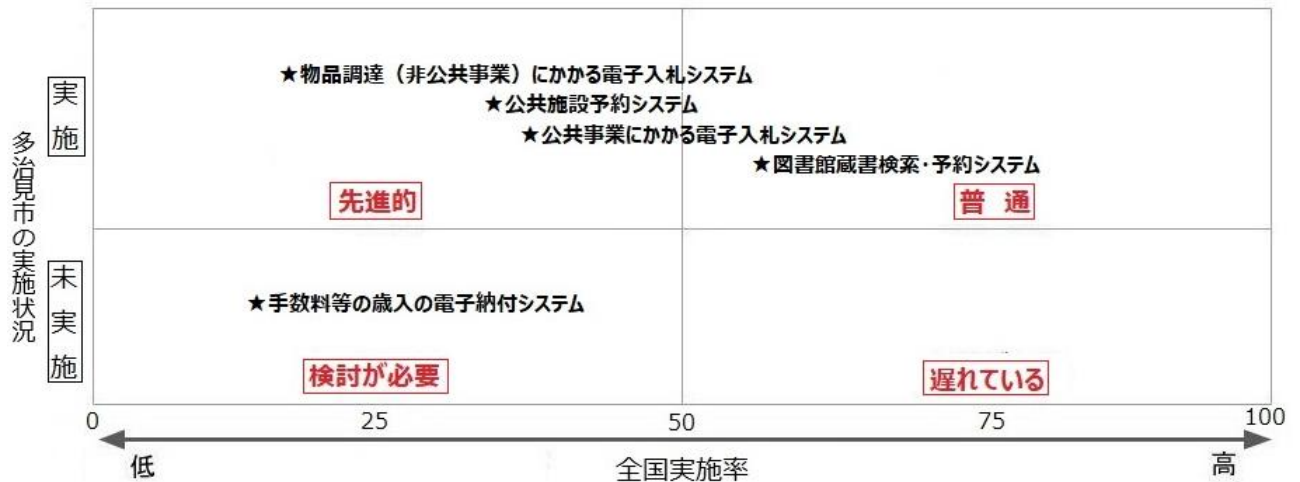
・汎用的電子申請システムの導入については、LoGo フォームを導入しているが、マイナンバーカードを用いたオンライン申請は受け入れていないため、導入に向けた検討が必要。（県内18団体導入済）

・オンラインシステムにおけるASP/SaaSの利用については、様々な業務で利用しているが手数料等の電子納付について未実施のため今後検討が必要（全国実施率：14.7%）

●：各項目の実施の有無



★：各種オンラインシステムにおける ASP・SaaS 利用の有無

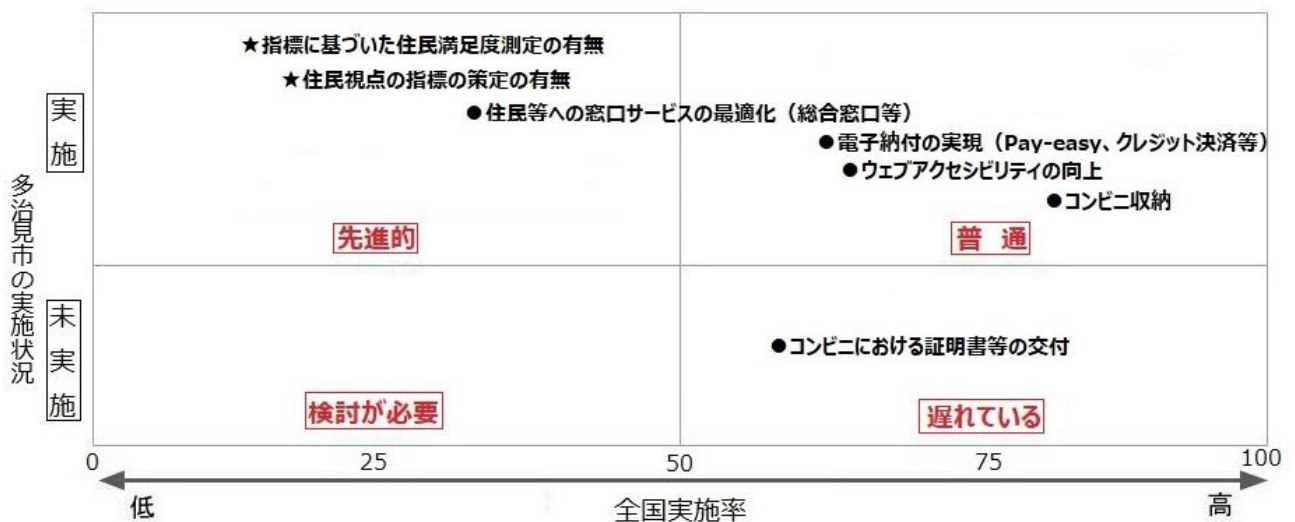


【住民サービス向上への取組状況】 ⇒ 良好（評価項目 7 個中：先進的 3/普通 3/遅れている 1）

- 良い点**
- ・「コンビニ収納」「総合窓口」「クレジット決済」「ウェブアクセシビリティの向上」を実施済。
 - ・「市民意識調査」により毎年度市民満足度を図っている。県内では 42 市町村中 6 団体のみが市民満足度を図っている。

検討点 ・「コンビニ交付」については令和 6 年度までに実施予定（全国実施率：79%）

★：各項目の実施の有無／●：住民サービスへの取組内容

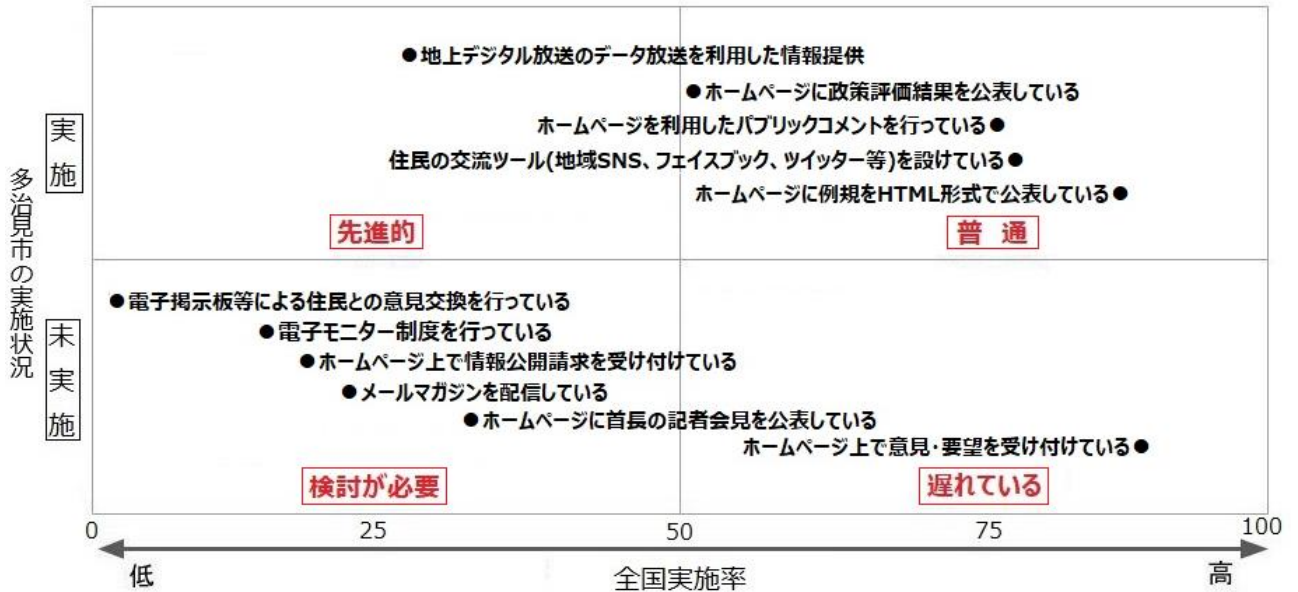


【ホームページ等の状況】 ⇒ やや不備あり（評価項目 20 個中：先進的 2/普通 11/検討 6/遅れている 1）

良い点 ・ホームページの機能に関してはすべて対応している

- 検討点**
- ・県内 42 市町村中 40 団体が行っているホームページ上の意見・要望を行っていない。
 - ・ホームページの評価に関しては、専門業者等を入れた精密な評価は実施していないが、令和 5 年度にホームページの脆弱性について IPA が実施する Web サイト簡易チェックを実施し、診断結果をもとに、多治見市公式ホームページの設定変更を行った。

●：ホームページ等での住民参画や行政の透明性確保のための取組



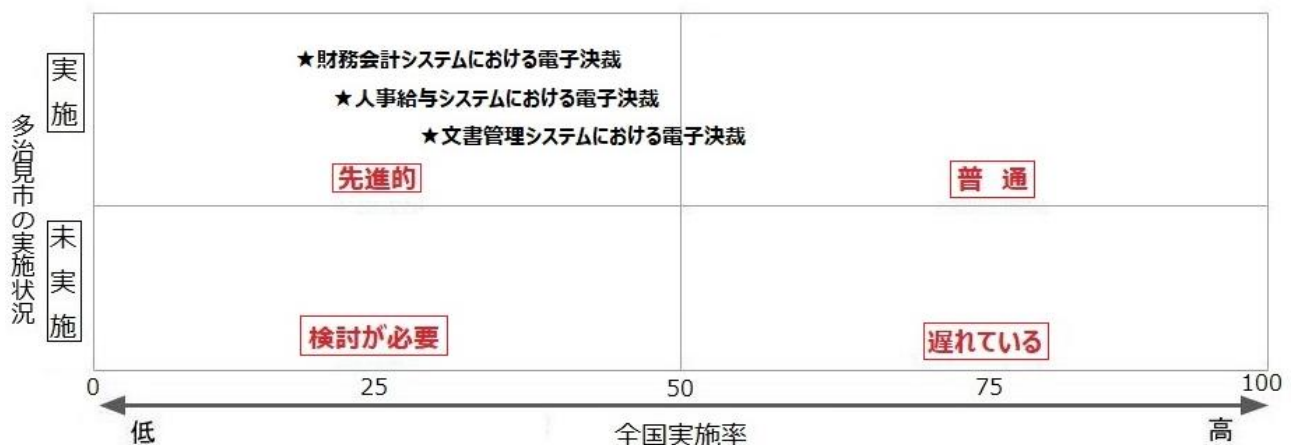
●：ホームページの機能



【電子決裁の状況】 ⇒ 先進的 (評価項目3個中：先進的3)

良い点・「人事給与」、「財務会計」、「文書管理」システムのすべてを電子化しており、全国的にも先進的な取り組みとなっている。(全国実施率：23.4%、21.8%、29.3%)

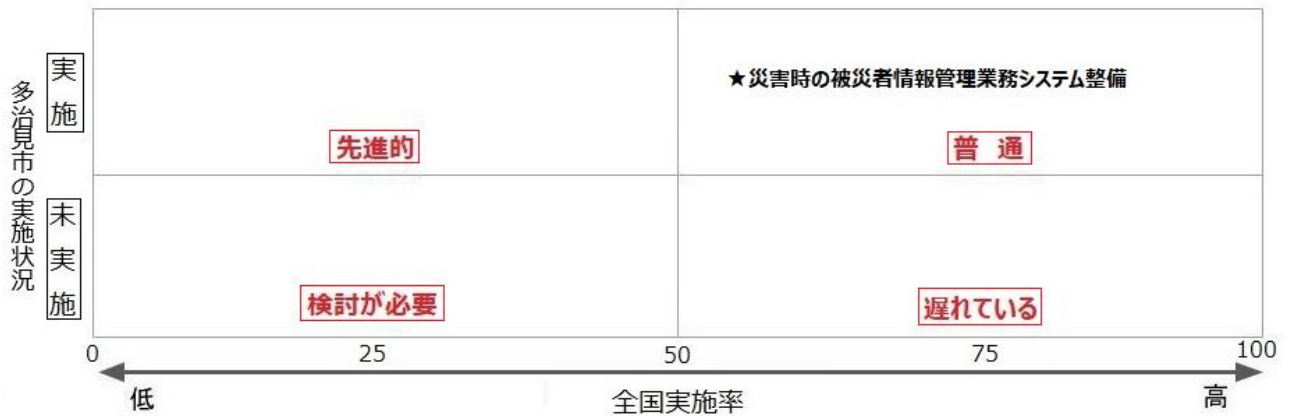
★：電子決裁できるシステム



【災害時の被災者情報管理業務システムの整備状況】 ⇒ 良好（評価項目 1 個中：普通 1）

良い点・「J-LIS が提供している被災者支援システム」を導入済み。

★：災害時の被災者情報管理業務システムの整備の有無

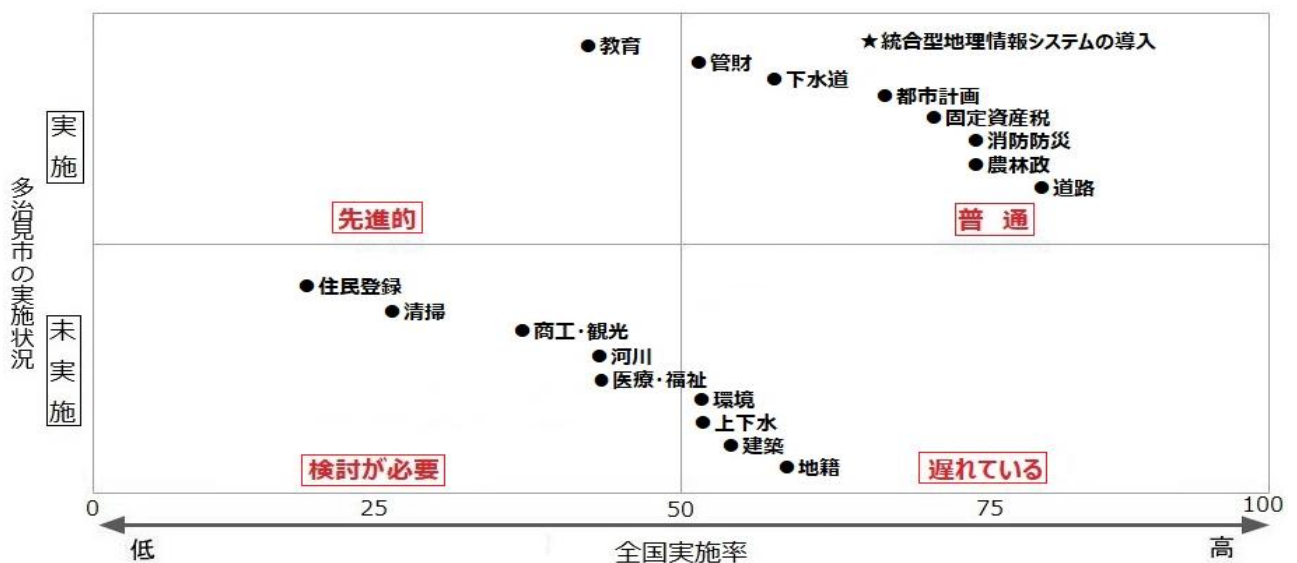


【統合型地理情報システム(GIS)の整備状況】 ⇒ 良好（評価項目 18 個中：先進的 1/普通 8/検討 5/遅れている 4）

良い点・県域統合型GISシステムを導入済み。

検討点・利用業務の拡大について検討が必要

★：統合型地理情報システム導入の有無／●：統合型地理情報システムの利用業務



《情報セキュリティ対策の実施状況》

【組織体制・規程類の整備】 ⇒ やや不備あり（評価項目 4 個中：普通 2/検討 1/遅れている 1）

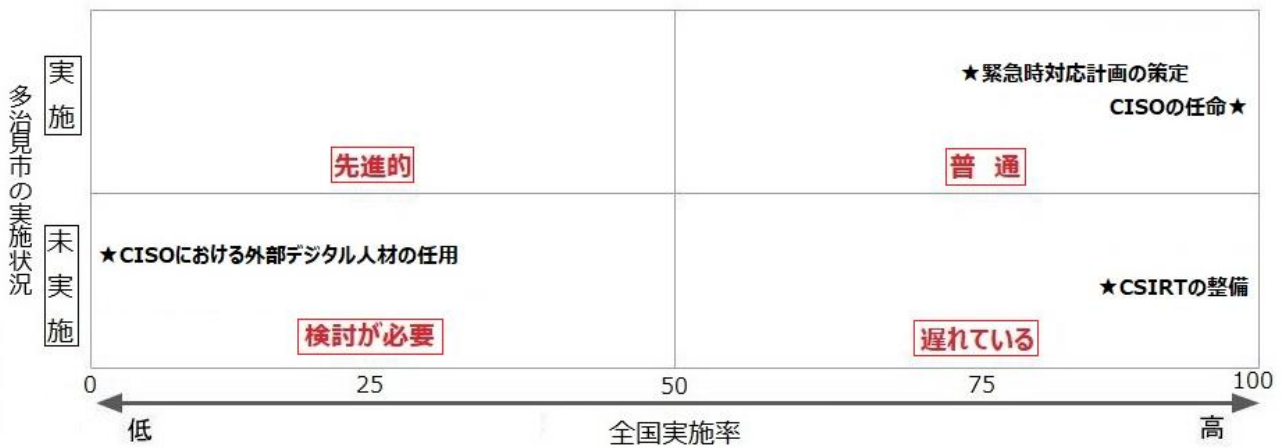
良い点・CISO を任命及び緊急時対応計画（多治見市情報セキュリティ緊急時行動規程）を策定済

検討点・全国で約 8 割が設置している CSIRT※1の整備ができていない。

※ 1 CSIRT (Computer Security Incident Response Team)

情報システムに対するサイバー攻撃等の情報セキュリティインシデントが発生した際に、発生した情報セキュリティインシデントを正確に把握・分析し、被害拡大防止、復旧、再発防止等を迅速かつ的確に行う事を可能とするための機能を有する体制のこと。

★：各項目の実施の有無



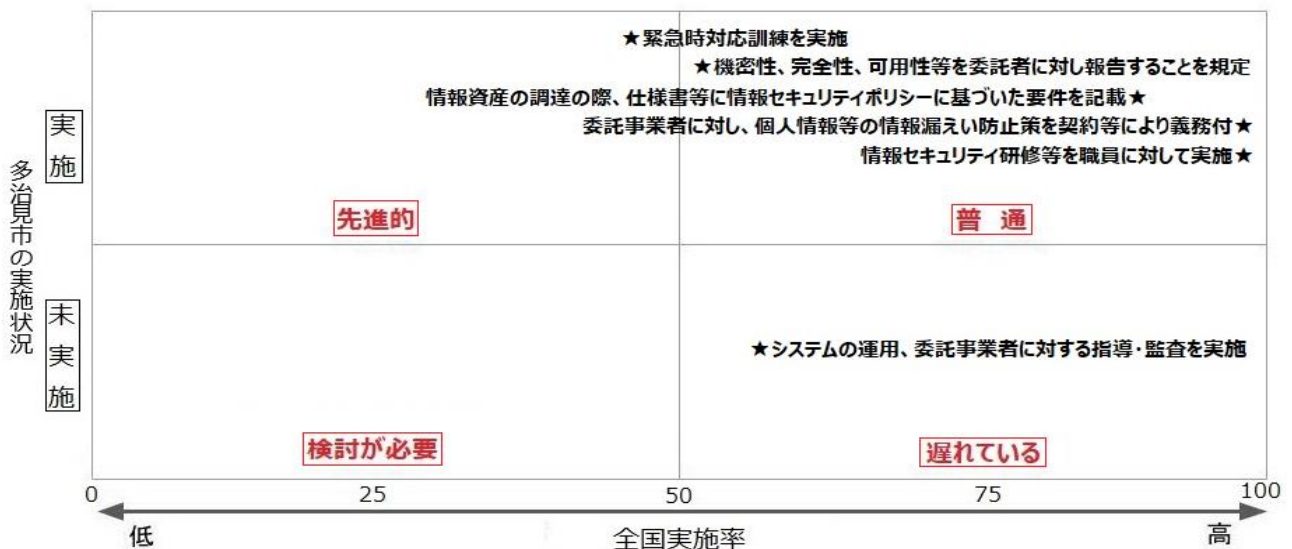
【人的及び調達時・運用時の情報セキュリティ対策】 ⇒ 良好（評価項目 6 個中：先進的 1/
普通 4/遅れている 1）

- 良い点**
- ・情報セキュリティ研修として全職員にe-ラーニング及び集合研修を実施、緊急時対応訓練として、ICT-BCP 訓練を実施している。
 - ・契約時に情報セキュリティポリシーに基づいた要件及び個人情報等の情報漏えい防止策について示している。

検討点

- ・全国で 57.4%が実施している「システムの運用、委託事業者に対する指導・監査」について実施の検討が必要

★：各項目の実施の有無

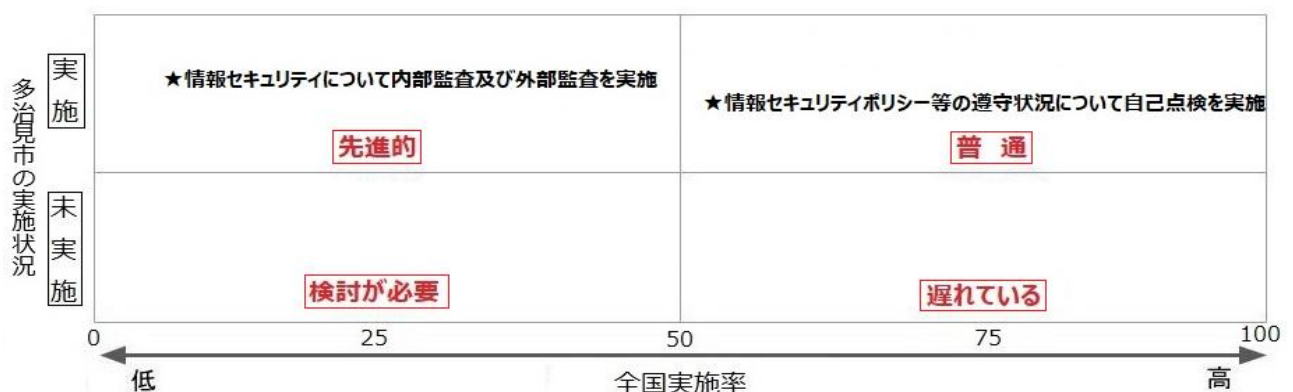


【情報セキュリティ対策の監査・点検】 ⇒ 良好（評価項目 2 個中：先進的 1/普通 1）

良い点

- ・情報セキュリティについて内部監査及び外部監査の両方を実施。（全国実施率：8.5%）

★：情報セキュリティ対策の監査・点検



【情報システムに関する業務継続計画(ICT-BCP)の策定状況】 ⇒ 先進的 (評価項目 4 個中 : 先進的 2/普通 1/検討 1)

良い点・ICT-BCP 初動版のみを策定。業務継続訓練の実施については、「全庁で実地演習」及び「机上の演習」を行っている。全国規模で両方演習を行っているのは5団体のみである。

★：ICT-BCP 策定の有無／●業務継続訓練の実施方法

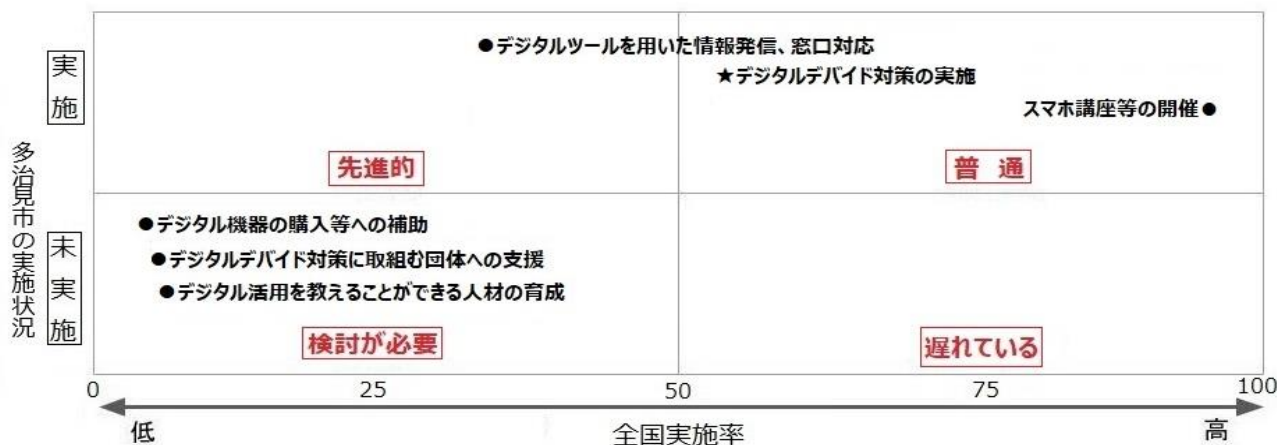


《デジタルデバインド対策》

【地方公共団体独自のデジタルデバインド対策の実施】 ⇒ 良好 (評価項目 6 個中 : 先進的 1/ 普通 2/検討 3)

良い点・民間事業者と連携し「スマホやタブレット等のデジタル機器やサービスの利用方法を教える講座」や「お届けセミナー」による講座を開催。

●：デジタルデバインド対策の実施の有無／デジタルデバインド対策の施策方法



参考

《その他》

【テレワークの導入状況】 ⇒ 不備あり (評価項目 1 個中 : 遅れている 1)

検討点・「実施可能な業務がない」などを理由に導入には至っていない。

【AIの導入状況】 ⇒ 先進的 (評価項目 1 個中 : 先進的 1)

良い点・「問い合わせ対応」のツールとしてAIチャットボットを導入。生成AIの活用については、AI利活用を抑えるのではなく、活用に向けて危険性を考慮し、検討していく必要がある。

【RPAの導入状況】 ⇒ 先進的（評価項目1個中：先進的1）

良い点・税務課で「特別徴収切替依頼書」「異動届出書入力」「扶養調査に係る情報連携登録処理」の業務についてRPAの実証実験をおこなっている。令和5年度の本番移行からの横展開を図る。

★：各項目の実施の有無

